

TSS ユーザ向け総合ジョブ管理システム

IOFMSP

TSS ユーザの生産性を向上

スプール管理・ジョブの実行監視・コンソールシミュレーション・ログ検索等



ジョブ操作・ログ操作をもっとスリムに、もっと簡単に

IOFMSPは、ヒューマン・マシン・インターフェース（HMI）に基づいた設計思想により、TSSユーザの生産性を大幅に向上させる総合ジョブ管理ツールです。

従来のPF/Dの3.8(OUTLIST表示)や、コンソールコマンド(JES操作)、ECS（システムログ表示）等で個々に行っていたジョブの表示、操作をPF/Dからのフルスクリーン操作に集約し、開発や保守作業の生産性の向上を実現します。さらに、印刷する出力結果を必要な部分に限定できる印刷出力データ選択機能の利用で用紙コスト、印刷ライン数、印刷待ち時間等も節減、開発から運用にいたるまで、あらゆるTSSユーザの省力化と効率化をサポートします。

ジョブ一覧表示機能



操作: 検索後編集出力

```
IOF DISPLAY --- 全実行 - ALL - 6 ----- 行 0000
コマンド ---
ジョブ名   番号 状態   クラス  順位  優先   行数  宛先  保
? P10F011A JOB 0018 INPUT   B      1      9     164 LOCAL YES
P10F011C JOB 0020 INPUT   B      2      9     106 LOCAL YES
P10F011C JOB 0021 ACTIVE  B      4      8       ? LOCAL NO
P10F011  TSU 0004 ACTIVE  *     14     15       ? LOCAL NO
P10F011C JOB 0019 OUTPUT  B      5      1   2,874 LOCAL YES  5
P10F011A JOB 0017 OUTPUT  B      6      1  111,358 LOCAL YES  7
** 終り **
```

IOFMSP

検索: 表示

スプール

システムログ検索機能



操作: 検索後データ編集出力



操作: コマンド入力

コンソールシミュレーション機能



```
IOF INDEX --- IOFUSERA - JOB 0036 ----- 行 00001  報
コマンド ---
データセット ステップ情報   プログラム  クラス  行数  頁数  複写
**LOG**      002      -           B       7      1      1
**JCL**      003      -           B     122     3      1
**MSG**      004      -           B     204     4      1
SYSPRINT    105     1 IEBDG     IEBDG   B       7      1      1
SYSOUT      110     3 ARCHIVE  SORT1   SORT   B       4      1      1
** 終り **
```

```
IOF MONITOR --- ATW - STD 0029 ----- 時刻 10:17:15 99.08.04
コマンド ---
データセット表示には CHANGE キーを押して下さい。
```

```
ステップ  => 1          実行状態  => ACTIVE
実行名     => AIM       モード     => スワップイン
プログラム => JXAA2000   理由     => SRBルーチン実行中
経過時間  => 01:52:58  開始時間  => 08:24:17 99.08.04
```

```
CPU時間  => 5.31      仮想記憶  => 2,584K
TCB時間  => 3.20 (60.26%) 非固定記憶 => 2,420K (93.65%)
SRB時間  => 2.11 (39.74%) 固定記憶   => 164K (06.35%)
CPU%     => 0.05      実記憶     => 184K
```

```
I/O回数  => 2,583      スワップ   => 0
ファイル => 133 (04.89%) ページIN   => 203 (25.19%)
スプール  => 2,589 (95.11%) ページOUT  => 603 (74.81%)
I/O/秒   => 0.00      ページ/秒  => 0.00
```

主な機能 - 導入のメリット

運用効率向上

機能性、生産性の向上により、運用効率を飛躍的にアップします。

印刷節減

印刷出力データ選択・加工機能により用紙節約、印刷待ち時間短縮に効果。

コンソール数

コンソールシミュレーション機能によりサブコンソールを撤去できます。

高速化・B37抑制

OUTLIST表示/検索を高速化し、領域不足も解消できます。

システム資源

CPUタイム、I/O回数、スプール使用率を改善できます。

運用処理軽減

運用担当者に対する操作依頼数の削減に貢献します。

活用パターン1 - ジョブ一覧表示

- 実行ジョブのモニター、内容確認、操作ができます。
- 終了ジョブの検索、内容確認、削除、印刷ができます。
- OUTLISTをメッセージファイル毎で表示、印刷編集ができます。
- 実行前ジョブの検索、内容確認、削除、印刷ができます。
- レコード長255バイト以上のOUTLISTを画面表示できます。

```
IOF DISPLAY --- 実行中 - ALL - 36 - 81.50% ----- 行 00001 欄 001 059
コマンド ===== 稼働欄 ===== PAGE
ジョブ名   番号 状態   CPU時間 占有   IO回数 比率 実記憶   ステップ
MSTRJCL  STC 0001 ACTIVE  33.42 0.06  14,415 1.08 340K SYSLOG
JES      STC **** ACTIVE  155.37 0.12  80,094  0   712K JES
PDEMO1L  JOB 0247 CPU!    62.52  59      0    0   48K WORK
PDEMO1J  JOB 0243 IO!    10.27  10   12,785 160  148K COPY
PDEMO1K  JOB 0246 IO!    10.45  11   6,443 151  200K COPY
PADIAE   STC 0016 WAIT    78.53  0      0    0    0K PADIAE
AOF      STC 0017 READY   3.29  0     94    0   52K AOF
NET      STC 0018 ACTIVE  34.70 0.07  239,976 2.43 800K NET
```

実行結果一覧表示サンプル

活用パターン2 - システムログ検索

- PFD画面からシステムログが検索できます。
- 出力メッセージが選択でき、選択後メッセージの保存、印刷、編集ができます。

```
IOF DISPLAY --- システムログ - SIDA - 101 ----- 行 04722 欄 008 085
コマンド ===== 稼働欄 ===== CUR
11.06.17 JOB 79 JEM375I PIOF021C ESTIMATED LINES EXCEEDED BY 76000
11.06.17          JEM842I Q=XEQ INVALID OPERAND
11.06.21 JOB 79 JEM375I PIOF021C ESTIMATED LINES EXCEEDED BY 78000
11.06.24          /DN,Q=XEQ
11.06.24 JOB 74 JEM809I PIOF021A AWAITING EXECUTION B Prio 8 ANY
11.06.24 JOB 75 JEM809I PIOF021B AWAITING EXECUTION B Prio 8 HOLD
11.06.24          JEM839I 17 PERCENT SPOOL UTILIZATION
11.06.31 JOB 79          +JHA920I IOF PRINT UTILITY ENDED
11.06.31 JOB 79          JDJ404I PIOF021C - ENDED - TIME=11.06.31
11.06.31 JOB 79          JEM395I PIOF021C ENDED
11.06.32 SE 11.06.32 JOB 79 JEM165I PIOF021C ENDED AT JESB, LOGON
11.06.32 JOB 74 JEM373I PIOF021A STARTED - INIT 13 - CLASS B - SYS SIDA
11.06.32 JOB 74 JDJ403I PIOF021A - STARTED - TIME=11.06.32
***** データの末尾 *****
```

SYSLOG表示サンプル

活用パターン3 - コンソールシミュレーション

- TSS端末にコンソール表示、システムコマンドが入力できます。

```
TSU 98 JEM100I P77637 ON TSSINRDR
-TSU 98 JEM373I P77637 STARTED
JOB 322 JEM308I P70038RN ESTIMATED TIME EXCEEDED
JOB 283 JEM308I P75342CN ESTIMATED TIME EXCEEDED
00- JOB 322 +*CECA263 END **
```

```
JDE152I 復元 区画 前進 消去 取消 印刷 自動
JDE163I MODE= RD - 02
```

コンソール表示サンプル

活用パターン4 - セキュリティ

- セキュリティ（操作制限や権限の設定）は、TSS対話機能で簡単に設定できます。
- ユーザごとにジョブ状態一覧画面の表示項目の制限が可能
- ユーザごとにIOF MSPのコマンドの入力制限が可能
- ユーザごとに使用できる機能の制限が可能

```
IOF SUPPORT --- ユーザ - PCBC999 - 1.0 -----
コマンド =====
以下のパラメータを指定して下さい。
```

```
PREFIX ===== PCBC ===== < 1 >
INCLUDE ===== < 1 >
EXCLUDE ===== SYS ===== < 1 >

AUTH ===== ANY (認定レベル) < 0 >
CONFIG ===== DISP20 (表示グループ) < 0 >
DISPLAY ===== SELECT (初期画面) < 1 >
CLASS ===== (ジョブ選択クラス) < 1 >

JOB ===== YES (ジョブの選択) < 1 >
TSU ===== YES (TSSユーザの選択) < 1 >
STC ===== YES (開始タスクの選択) < 1 >
```

ユーザ権限設定画面サンプル

稼働環境：富士通（OSIV/F4 MSP, OSIV/MSP）